Be Original.

# Corporate Guide

2024年4月発行

# 事業と技術のイノベーションを通じて、サステナブル社会の実現に貢献します

代表取締役
社長執行役員 兼 CEO

当社は、事業活動を通じて気候変動や人権尊重をはじめとする様々な社会課題の解決に貢献することが、自らの果たすべき社会的責任であると考えています。

当社は昨年度より、「ESG（環境・社会・ガバナンス）に重点を置いた経営」の方針の下、基盤となる「技術力のさらなる強化」、「グローバルマインドの醸成」、「人を活かす経営」の3つを重点的に推進してきました。今後はこうした取り組みをベースに新規事業の創出を加速していきます。

これに向け、本年4月には、事業グループ体制を、「スマートライフ＆エナジー事業」「スマートオフィス事業」「ユニバーサルネットワーク事業」の3つのブランド事業と、「ディスプレイデバイス事業」「エレクトロニックデバイス事業」の2つのデバイス事業に再編するとともに、夫々の傘下に新規事業を専門とする組織を設置しました。

さらに、技術力の一段の強化を図るべく、全社のイノベーションを支える機能を束ねた「イノベーショングループ」を新設しています。

今後はこの6つのグループがOne SHARPとなって、“Be a Game Changer”を実現する革新技術や革新デバイスの開発を進め、人々の暮らしや働き方等、様々な分野で当社ならではのイノベーションを実現していきたいと考えています。そして、人や社会に寄り添い、常に新たな価値を提供し続ける「強いブランド企業“SHARP”」の確立を目指していきます。

また、当社は今年5月に、私自身を委員長とする「サステナビリティ委員会」を発足しました。今後はこの委員会が中心となって、「自社活動のCO2排出量ネットゼロ」を含む長期環境ビジョン「SHARP Eco Vision 2050」の実現に向けて設定した「中期環境目標」の達成に全社を挙げて取り組む等、サステナブル社会の実現に向けた様々な取り組みを強力に推進していきます。

加えて、2009年に署名した国連グローバル・コンパクトの参加企業として「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」に関する10原則を継続して支持するとともに、2021年に加盟したRBA※のビジョンとミッションをグループ全体で共有し、グローバルな社会課題の実効的な解消に向けた取り組みを加速していきます。

当社はこれからも、経営理念の一節に掲げる「株主、取引先をはじめ、全ての協力者との相互繁栄を期す」という言葉の通り、全てのステークホルダーの皆様と一体となってESG経営を推進し、SDGsの達成、さらには地球上の誰一人取り残さない、持続可能でよりよい世界の実現に貢献してまいります。

2023年8月

※Responsible Business Alliance。グローバルサプライチェーンの社会的責任を推進する非営利団体。

経営理念・経営信条

| | |
|---|---|
| **本社所在地** | 大阪府堺市堺区匠町1番地 |
| **電話番号** | 072-282-1221(大代表) |
| **代表者** | 代表取締役 社長執行役員 兼 CEO 呉 柏 勲<br>代表取締役 副社長執行役員　沖津 雅浩 |
| **創業** | 1912(大正元)年 創業者・早川徳次(当時18歳)が徳尾錠(ベルトのバックル)の発明で特許をとり、東京本所松井町で金属加工業を創業(9月15日) |
| **設立** | 1935(昭和10)年5月 資本金30万円をもって株式会社組織に改め、株式会社早川金属工業研究所を設立。 |
| **資本金** | 50億円(2023年12月末現在) |
| **売上高** | 2兆5,481億1,700万円(連結)／5,554億9,100万円(単独)(2023年3月期) |
| **社員数** | シャープ連結:44,037名／国内連結:17,564名(シャープ(株)単体 5,093名、関係会社 12,471名)<br>海外関係会社(連結):26,473名(2023年12月末現在) |
| **上場取引所** | 東京証券取引所 プライム市場 |
| **証券コード** | 6753 |

## 経営理念

いたずらに規模のみを追わず、
誠意と独自の技術をもって、
広く世界の文化と福祉の向上に貢献する。
会社に働く人々の能力開発と
生活福祉の向上に努め、
会社の発展と一人一人の
幸せとの一致をはかる。
株主、取引先をはじめ、
全ての協力者との相互繁栄を期す。

## 経営信条

二意専心
**誠意と創意**

この二意に溢れる仕事こそ、人々に心からの満足と
喜びをもたらし真に社会への貢献となる。

誠意は人の道なり、すべての仕事にまごころを
和は力なり、共に信じて結束を
礼儀は美なり、互いに感謝と尊敬を
創意は進歩なり、常に工夫と改善を
勇気は生き甲斐の源なり、進んで取り組め困難に

## 創業者から受け継がれた経営への熱い想い

「他社がまねするような商品をつくれ」
これは、シャープの創業者早川徳次のメッセージです。このメッセージには、次の時代のニーズをいち早くかたちにした「モノづくり」により、社会に貢献し、信頼される企業を目指すという、早川徳次の経営の考え方が凝縮されています。そして、この精神は、1973年に「経営理念」「経営信条」として明文化され、創業以来110年を超える月日が流れた今日まで、脈々と受け継がれています。

**創業者 早川徳次物語**
**WEBで公開中！**
早川式繰出鉛筆発明の経緯から、テレビの開発まで、動画と写真でご紹介します

## コーポレート宣言

# Be Original.

あなたの日々を、
もっとあなたらしく、あたらしく、たのしく。
１世紀前、１人の発明家が志した「誠意と創意」の仕事は、
今も、これからも変わらない、私たちの原点。
もっとあなたの近くで、もっとあなたのために。
私たちは、「あなたのためのオリジナル」をつくり続けます。

SHARP

“Be Original.”は、シャープらしいオリジナリティあふれる価値を創造するブランドであり続けることを世界中のお客さまに約束する言葉です。コーポレート宣言“Be Original.”の「Original（オリジナル）」にはニつの意味が込められています。

1. 創業者の早川徳次が残した「誠意と創意」の精神は、
これからも私たちの「原点（オリジナル）」として受け継いでいく
2. 「人に寄り添い、新しい価値を提供し続ける企業」として、さまざまな独自商品・サービスを
提供することで、お客さま一人ひとりが自分らしさを実現できる
「あなたのための『オリジナル』」を創り続ける

最後の「.（ピリオド）」は、私たちが強い決意をもって取り組んでいくという意志の表れです。



『発明家の会社』シャープが生み出した

# 世界初・日本初の技術

1912
創業

1915

### エバーレディー シャープペンシル

独創的な芯の繰出し装置を発明し、美しく、使いやすく、しかも堅牢な文具として完成させ、早川式操出鉛筆と名付け売り出しました。以降、シャープペンシルと言われるようになり、当社の社名「シャープ」の由来となりました。

1925

### 国産第１号鉱石ラジオ

関東大震災後、大阪での再起をめざした早川創業者は、ラジオの将来性に目をつけました。1925年4月に、記念すべき国産第1号の、鉱石ラジオセットの組立に成功しました。

1953

### 国産第１号テレビ

シャープは、ラジオが普及し始めたばかりの1931年に、早くもテレビの研究に着手。戦中戦後に手掛けた超短波技術も大いに役立ち、1952年末に国産第1号テレビを発売。その後量産によるコストダウンを進めたのも当社です。

1964

### オールトランジスタ電卓 「コンペット」

世界初のオールトランジスタ・ダイオードによる電子式卓上計算機。若手技術者達の提案で、コンピュータや半導体などの技術開発がスタート、大型コンピュータでなく「いつでも・どこでも・だれにでも」使える計算機の先駆けとなりました。

1970
シャープ株式会社に
社名変更

1973

### 液晶表示電卓 「液晶コンペット」

シャープの技術者たちの必死の努力の結果、液晶の実用化に成功しました。世界で初めて液晶表示付きCOS化ポケット電卓を開発、1973年に発売しました。

2000

### カメラ付き携帯電話

業界初のモバイルカメラ付き携帯電話。「レンズ一体型11万画素CMOSイメージセンサ」を搭載、撮った写真をメールで送れる携帯電話を商品化、J-Phone（当時）から発売しました。

2016
鴻海精密工業股份有限公司との
戦略的提携

### モバイル型ロボット電話

『RoBoHoN(ロボホン)』は、小型で手軽に携帯できる世界初のモバイル型ロボット電話として登場しました。電話やメール、カメラなど携帯電話の基本機能に加え、各種アプリケーションやサービスをロボホンとの対話を楽しみながら使用できます。

### AIoT家電

AIoTクラウドサービスに対応した商品を続々発売。献立提案などができる冷蔵庫や調理家電、気象情報を基に自動制御し省エネ運転するエアコンなど、様々な人の生活に寄り添った商品を開発しています。

2018

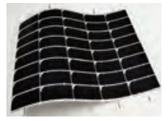
### 8K衛星放送対応 AQUOS関連製品

8Kチューナー内蔵液晶テレビ『AQUOS 8K』AX1シリーズは、フルハイビジョン(2K)の16倍の解像度で、これまでにないリアリティ溢れる映像の8K放送の受信に世界で初めて対応しました。

2022

### 太陽電池モジュール

実用サイズの軽量かつフレキシブルな太陽電池モジュールで、世界最高※1の変換効率32.65%※2を達成しました。



※1 2022年6月6日現在、研究レベルにおける太陽電池モジュールにおいて（シャープ調べ）。
※2 2022年2月、国立研究開発法人産業技術総合研究所（世界の太陽電池の公的測定機関の一つ）により、確認された数値［モジュール面積：965cm2、最大出力：31.51W］

## 事業ビジョン

# 8K+5GとAIoTで
# 世界を変える

シャープは、8Kや5G、AI、IoT、ロボットをはじめとした革新的な独自技術を核に様々なパートナーと連携し、次々と当社ならではの新たな価値を生み出す「8K+5G Ecosystem」「AIoT World」の構築を目指しています。
それを実現するためには、単なるハードウェアやデバイスを中心とした事業から、ハード・ソフト・サービスを融合させたシステムの創出、さらには様々なシステムを連携させた独自のソリューションを提供することが重要だと考えています。

### [ 事業ビジョンを実現するためのステップ ]

**特長機器**の
グローバル展開
8K、5G、AIoT搭載機器をグローバルに展開。

ハード・ソフト・サービスを融合した
**システム**の創出
特長機器とソフト・サービスを組み合わせより使う人に寄り添うシステムを。

システムを連携させた
**ソリューション**の提供
高度にシステムを連携させたプラットフォームで様々な課題を解決。

### [ 事業ビジョンを具現化する5つの事業 ]

上記のビジョンを実現するべく、コアとなる3つのブランド事業と、
それらを支える2つのデバイス事業がOneSHARPとなって事業を推進していきます。

**ブランド事業**

特長的な機器やサービス、ソリューションを強みに、グローバル事業を拡大

| スマートライフ | 8Kエコシステム | ICT |
| --- | --- | --- |
| 人に寄り添い、よりあなたらしい暮らしを実現 | 最先端の映像技術を核に、社会のイノベーションを加速 | ワイヤレス技術やモバイル技術で、シームレスな社会を構築 |

**デバイス事業**

他社との協業を梃子に、ブランド事業の優位性を支える革新的デバイスを創出

| ディスプレイデバイス | エレクトロニックデバイス |
| --- | --- |
| 世界No.1のディスプレイ技術で、DXを牽引 | 独自のデバイス技術で、スマート社会の発展に貢献 |





## 8Kや5G、AIoTなどを搭載した特長機器を核に、独自のソリューションの提供を目指します。

既存事業

**特長機器**の
グローバル展開

**AIoT機器**

**8K+5G機器**

**IT機器**

ハード・ソフト・サービスを融合した
**システム**の創出

**COCORO+**

- COCORO KITCHEN
- COCORO WASH
- COCORO AIR
- COCORO ENERGY
- COCORO VISION
- COCORO HOME など

**8K+5G関連システム**

8K
インタラクティブ
ミュージアム

3眼カメラ配筋検査　遠隔応対

**オフィス向けシステム**

LINC Biz
LINC Biz mobility
TeleOffice
ネットワークプリントサービス
dynaCloud

システムを連携させた
**ソリューション**の提供

- COCORO OFFICE
- デジタルヘルスソリューション（バイタルチェック等）
- 医療ソリューション（遠隔診療/医療従事者サポート等）
- 環境ソリューション（プラズマクラスターイオン発生機/光触媒等）
- GIGAスクールソリューション（環境構築/危機管理等）
- セキュリティソリューション（スマートロック/遠隔モニタリング等）
- 自動化/省人化ソリューション（工場物流/ピッキング等）
- インフラソリューション（鉄道等）
- 現場ソリューション（作業支援/健康管理等）

強いブランド企業“SHARP”への道筋

# “ESGに重点を置いた経営”を実践

社会的価値の向上

ブランド力の向上

## 2016~2021年度

**黒字化/安定的利益創出**

### 将来に向けた基盤構築

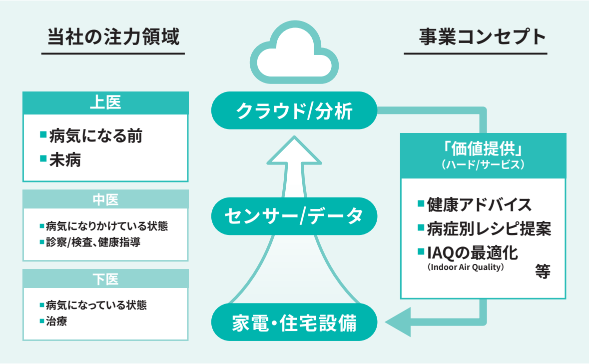
- ブランド事業を主軸とした事業構造の構築
- 「8K+5GとAIoTで世界を変える」の具現化
- 財務基盤の強化・社債市場への復帰

## 2022年度~

**持続的成長**

### ESGに重点を置いた経営

### 1. 健康関連事業のさらなる強化




**健康データを計測し自然と健康になっていく暮らしを実現**

新たな機器の創出や他社との連携等を通じてお客様との接点を一層拡大するとともに、ユーザーが意識することなく健康データを計測できる仕組みを構築し、一人ひとりに最適化されたソリューションを提供していきます。これにより、人々が自然と健康になっていく暮らしを実現していきます。

### 2. カーボンニュートラルへの貢献

**エネルギーソリューション事業の変革を加速**

宇宙向けや車載向けへの事業展開、「ペロブスカイト」太陽電池の実用化加速等に取り組んでいきます。これにより、エネルギーソリューション事業をより一層拡大し、2030年には、自社活動における温室効果ガス(GHG)排出量の約12倍の削減貢献を果たすなど、今後も社会の脱炭素化に貢献していきます。

### 3. 人(HITO)を活かす経営

**若くて活気あふれる企業風土の醸成**

「複数の専門性を持つHybrid人材の育成」、「Innovationが生まれる環境や風土づくり」、「社員の才能(Talent)を十分に活かす適材適所の人材配置」、「優秀人材への成長機会(Opportunity)の提供」の4つの観点から、さらなる人事制度改革を推進していきます。

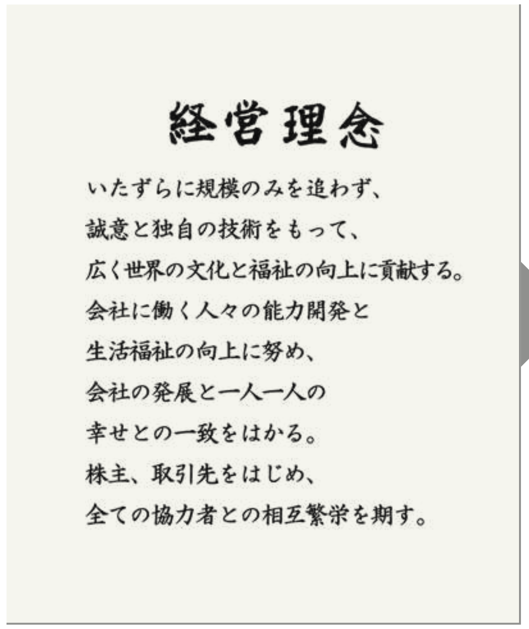
### 4. 真のグローバル企業へ

**グローバル視点での経営改革を推進**

海外各地域における販売戦略の強化と、グローバル視点での経営改革を推進していき、これにより海外比率(2021年度67.2%)を早期に80%まで引き上げます。具体的には、グローバル人材の育成や本社部門の海外支援機能、新製品のグローバル同時展開などを強化し、プレゼンス向上を図っていきます。

継続

# シャープのSDGsの原点は、1973年に明文化した経営理念から。



経営理念

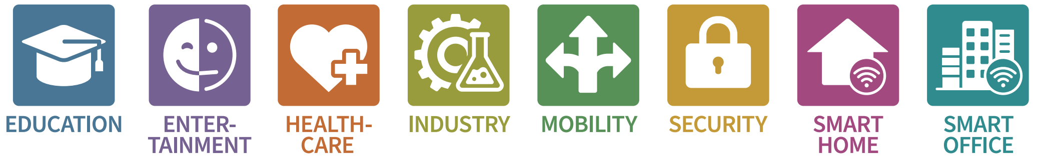
いたずらに規模のみを追わず、
誠意と独自の技術をもって、
広く世界の文化と福祉の向上に貢献する。
会社に働く人々の能力開発と
生活福祉の向上に努め、
会社の発展と一人一人の
幸せとの一致をはかる。
株主、取引先をはじめ、
全ての協力者との相互繁栄を期す。

1973年に明文化されたシャープの経営理念には、「広く世界の文化と福祉の向上に貢献する」「株主、取引先をはじめ、全ての協力者との相互繁栄を期す」などの言葉で、2015年に国連で採択された「SDGs（持続可能な開発目標）」に相通じる考え方が盛り込まれています。

シャープはこの経営理念のもと、「事業を通じた社会的課題の解決」と「SER※施策の推進による社会や環境への負荷軽減」の両輪でSDGs達成への貢献を目指し、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」持続可能でよりよい世界の実現に貢献していきます。

※Social and Environmental Responsibility（社会環境責任）

## シャープとSDGs：社会課題解決を目指す8つの重点事業分野




## 8K+5GとAIoTで世界を変える

シャープは、事業ビジョンである「8K+5GとAIoTで世界を変える」のもと、「8K+5G Ecosystemの創出」「5G関連ビジネスの展開」「COCORO LIFEサービスの拡大」「クラウドサービスの強化」を通じて、単なるハードウェアやデバイスを中心とした事業から、ハードウェアとソフトウェア、サービスを組み合わせたシステム、さらにはソリューション事業への変革を推進してきました。これらの事業変革により、One SHARPで世の中に新たな価値を提供し、国際的な社会課題を解消することを目指しています。

それぞれの事業本部・関係会社では、これまで当社が得意としてきた事業分野である「Smart Home」「Entertainment」「Smart Office」はもとより「Healthcare」「Education」「Security」「Industry」「Mobility」への取り組みをより一層強化し、2015年に国連で採択された「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成にどのように貢献していくかをテーマに、事業の拡大と社会課題の解決の両立に取り組んでいます。

# SHARP Eco Vision 2050

環境問題は近年深刻さを増し、国際社会における重要課題と認識されています。
そんな中、シャープは「SHARP Eco Vision 2050」という長期的な環境へのビジョンを策定。
「気候変動」「資源循環」「安全・安心」の3つの分野で2050年の長期目標を設定し、
持続可能な地球環境の実現を目指します。

**気候変動**：電気を使う製品を作る会社だからこそ、消費エネルギーの削減・クリーンエネルギーの創出を行い、脱炭素社会の実現を目指します。

**資源循環**：限りある資源を有効活用し、プラスチックの再利用をはじめとしたサーキュラーエコノミーの構築を目指します。

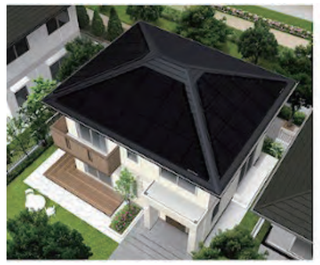
**安全・安心**：企業活動が人や環境に悪影響を及ぼしてはならないため、化学物質の取り扱いを厳重管理し、地球環境・生態系を守ります。

### 取組事例

## 住宅用太陽電池モジュール『BLACKSOLAR ZERO』が令和4年度「新エネ大賞」の「新エネルギー財団会長賞」を受賞

シャープの住宅用太陽電池モジュール「BLACKSOLAR ZERO」が、一般財団法人「新エネルギー財団」が主催する令和4年度「新エネ大賞」（後援：経済産業省）の【商品・サービス部門】において「新エネルギー財団会長賞」を受賞しました。

「BLACKSOLAR ZERO」は、屋根の大きさや形状に合わせてサイズ・形状の異なる4機種のモジュールを組み合わせる「ルーフィット設計」により、さまざまな屋根形状に合わせて効率良く設置することができるため、発電容量の最大化を図れます。



「BLACKSOLAR ZERO」の設置イメージ

## 再生プラスチック材の使用率を大幅に向上させたスマートフォン『AQUOS wish3』

シャープは、ベーシックモデルのスマートフォン「AQUOS wish3」を2023年7月に発売しました。"シンプルで飾らない"ライフスタイルに寄り添う「AQUOS wish」シリーズの第3弾として、より環境に配慮し、家族みんなに使いやすい機能を充実させました。

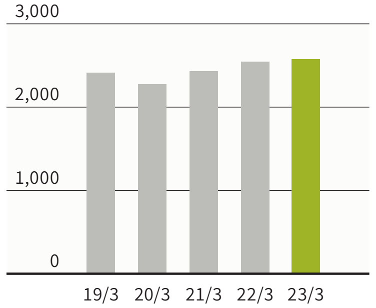
本体筐体の再生プラスチック材使用率を約60%へ向上※1。今回新たに、カメラ周辺や一部の内部パーツにも再生プラスチック材を採用※2しました。紙の使用量を削減した小型でシンプルなパッケージと合わせ、より環境に配慮しました。

※1 当社2022年度モデル「AQUOS wish2」は再生プラスチック材を約35%使用。
※2 筐体以外の部品の再生プラスチック材使用率は約35%です。

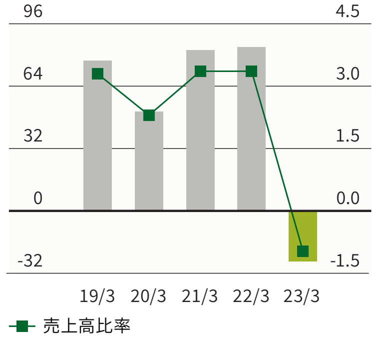
（左）AQUOS wish3（左から、ホワイト、ブラック、グリーン）
（右）リサイクルイメージ

## 連結財務ハイライト

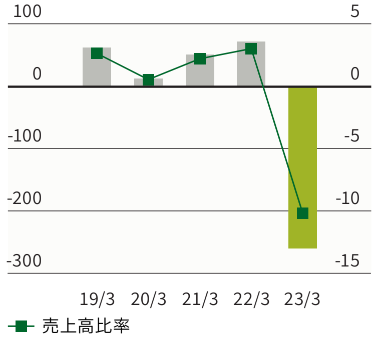
■ 売上高




■ 営業利益




■ 親会社株主に帰属する当期純利益




## 株主構成(普通株式)

2023年9月30日現在

■ 発行済株式の総数　650,406,538株

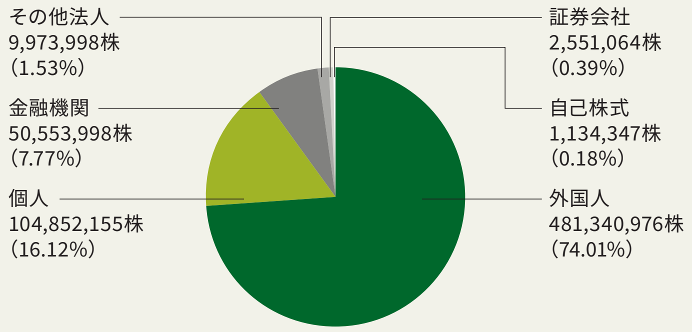
■ 株主数　172,556名

■ 大株主

| 株主名 | 所有株式数(株) | 持株比率(%) |
|---|---|---|
| HON HAI PRECISION INDUSTRY CO.,LTD. | 144,900,000 | 22.32 |
| SIO INTERNATIONAL HOLDINGS LIMITED | 85,884,845 | 13.23 |
| FOXCONN (FAR EAST) LIMITED | 76,655,069 | 11.81 |
| FOXCONN TECHNOLOGY PTE. LTD. | 64,640,000 | 9.96 |
| CLEARSTREAM BANKING S. A. | 38,856,896 | 5.98 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 29,972,100 | 4.62 |
| LGT BANK LTD | 15,633,109 | 2.41 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 6,633,600 | 1.02 |
| 日本生命保険相互会社 | 4,731,738 | 0.73 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 4,578,100 | 0.71 |

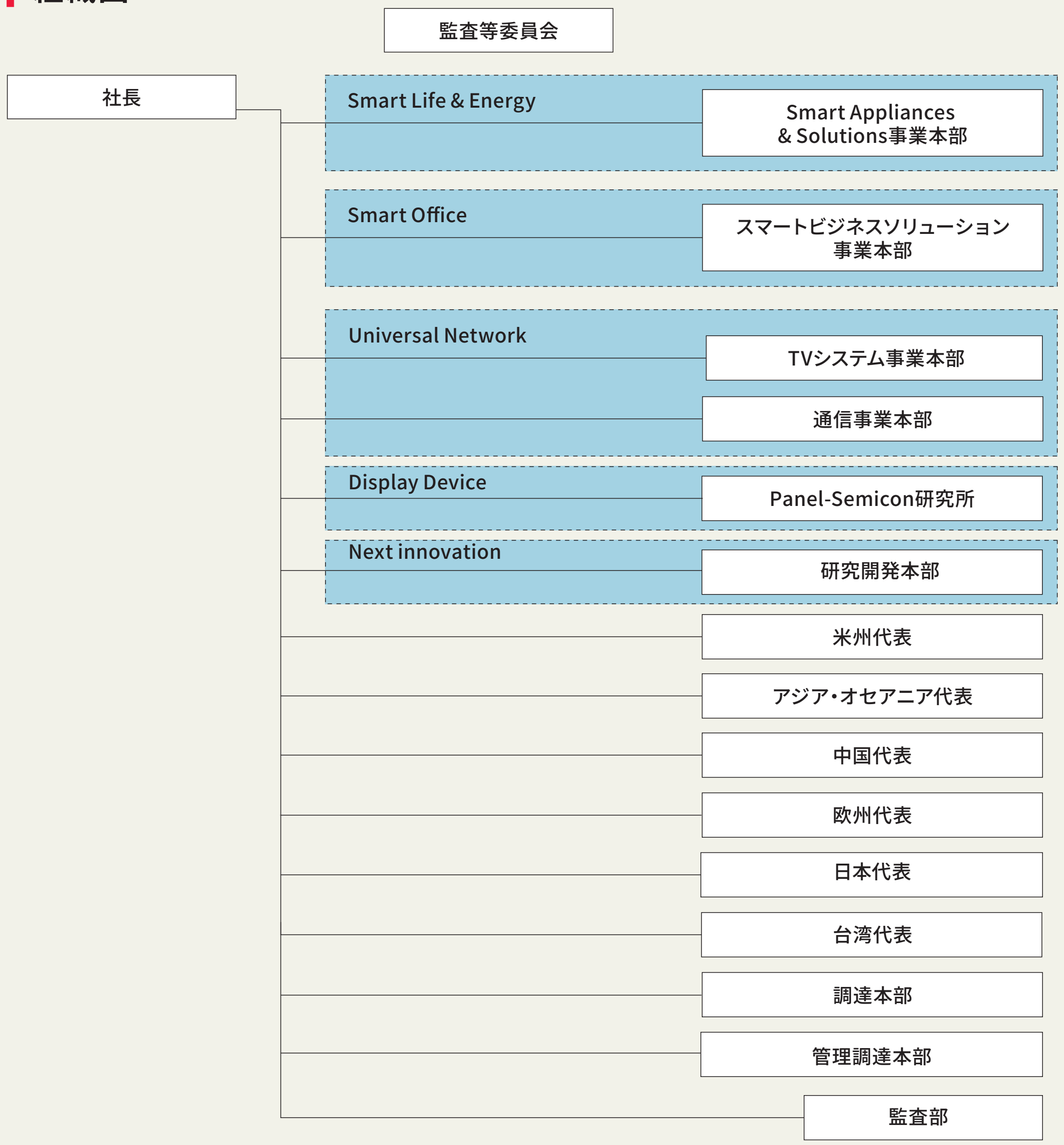
(注):持株比率は、自己株式1,134,347株を除く発行済株式の総数により算出しております。

■ 所有者別分布状況(発行済株式の総数に対する割合)




## 組織図

2024年4月1日現在




## 役員一覧

2024年4月1日現在

■ 取締役

| | |
|---|---|
| 代表取締役 | 呉　柏　勲<br>沖津　雅浩 |
| 取締役 | 胡　立　民<br>陳　士　駿 |
| 取締役(監査等委員) | 呂　旭　東<br>姫岩　康雄<br>中川　　裕 |

■ 執行役員

| | | |
|---|---|---|
| 社長執行役員 | CEO | 呉　柏　勲 |
| 副社長執行役員 | | 沖津　雅浩 |
| | CFO | 陳　信　旭 |
| 常務執行役員 | 管理統轄本部長 | 小坂　祥夫 |
| | エレクトロニックデバイスビジネスグループ長 | 王　建　二 |
| | CTO 兼 ネクストイノベーショングループ長 | 種谷　元隆 |
| 執行役員 | スマートライフ&エナジービジネスグループ長<br>兼 Smart Appliances &Solutions事業本部長 | 菅原　靖文 |
| | スマートオフィスビジネスグループ長<br>兼 スマートビジネスソリューション事業本部長 | 河村　哲治 |
| | ユニバーサルネットワークビジネスグループ長 | 中野　吉朗 |
| | ディスプレイデバイスビジネスグループ長 | 川合　勝博 |

## 主な国内拠点・事業所と事業本部・子会社

## 主な国内営業拠点

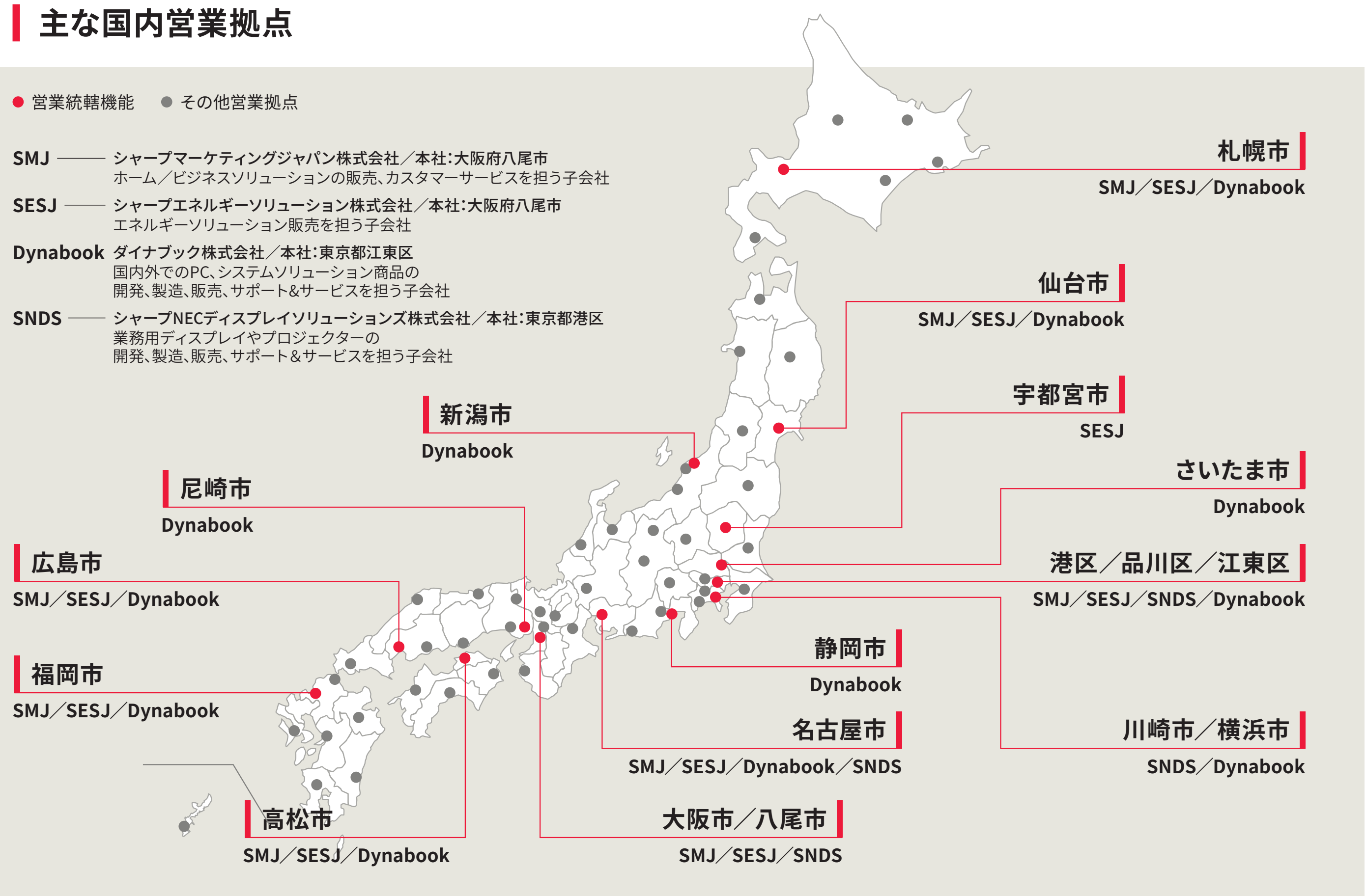
● 営業統轄機能　● その他営業拠点

**SMJ** —— **シャープマーケティングジャパン株式会社／本社：大阪府八尾市**
ホーム／ビジネスソリューションの販売、カスタマーサービスを担う子会社

**SESJ** —— **シャープエネルギーソリューション株式会社／本社：大阪府八尾市**
エネルギーソリューション販売を担う子会社

**Dynabook** **ダイナブック株式会社／本社：東京都江東区**
国内外でのPC、システムソリューション商品の
開発、製造、販売、サポート&サービスを担う子会社

**SNDS** —— **シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社／本社：東京都港区**
業務用ディスプレイやプロジェクターの
開発、製造、販売、サポート&サービスを担う子会社




## 主な海外生産拠点

● 主な生産拠点

**中国**

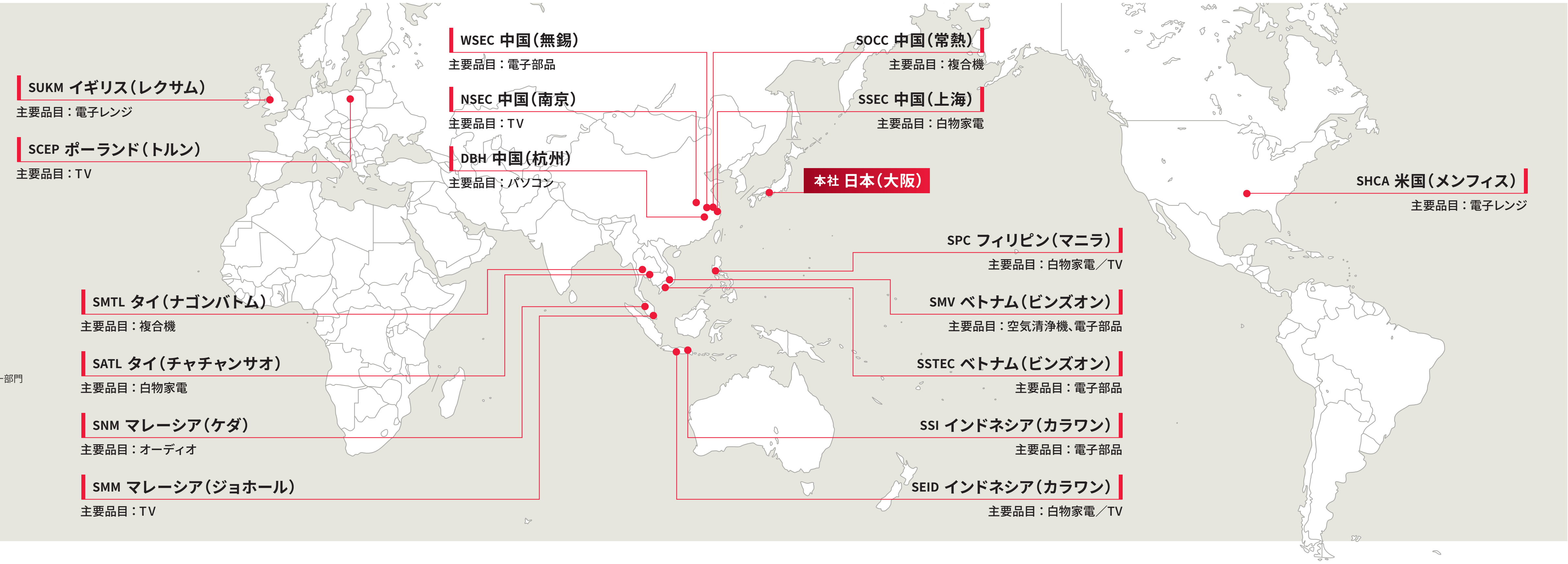
**NSEC** 南京夏普電子有限公司
**WSEC** 無錫夏普電子元器件有限公司
**SOCC** 夏普弁公設備(常熟)有限公司
**SSEC** 上海夏普電器有限公司
**DBH** 玳能科技(杭州)有限公司

**アジア**

**SMTL** Sharp Manufacturing (Thailand) Co.,Ltd.
**SATL** Sharp Appliances (Thailand) Ltd.
**SMM** Sharp Manufacturing Corporation (M) Sdn. Bhd.
**SNM** Sharp North Malaysia Sdn.Bhd.
**SPC** Sharp (Phils.) Corporation
**SEID** P. T. Sharp Electronics Indonesia
**SSI** P. T. Sharp Semiconductor Indonesia
**SSTEC** Saigon Stec Co., Ltd.
**SMV** Sharp Manufacturing Vietnam CO.,LTD.

**欧州**

**SCEP** SHARP Consumer Electronics Poland Sp. z o.o.
**SUKM** Sharp Manufacturing Company of U.K.
[備考] SUKMは欧州統轄会社SEE(Sharp Electronics (Europe) Limited)の一部門

**米州**

**SHCA** Sharp Home Electronics Company of America
[備考] SHCAは米国販社SEC(Sharp Electronics Corporation)の一部門